

キャラクター名 リーゼ	プレイヤー名
----------------	--------

種族	シャドウ	種族特徴	暗視/月光の守り
生まれ	密偵	性別	女性
		年齢	30
冒険者Lv	8	経歴	裏切られたことがある
経験点	2140		忘れられない恐怖を体験したことがある 大恋愛をしたことがある

技	16	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	6		2	24	4				
体	7	敏捷度	5	7		28 + 2	5	スカウト	7		
		筋力	12	5		24	4	エンハンサー	3		
心	4	生命力	8	7		22	3	アルケミスト	1		
		知力	6			10 + 2	2				
		精神力	9	1		14	2				

戦闘特技		値	備考
トレジャーハント	2120p		p
ファストアクション	2123p		p
両手利き	223p		p
武器習熟A/ソード	1B31p		p
二刀流	1B30p		p
武器習熟S/ソード	1B31p		p
			p
			p
			p
			p
			p

練技/呪歌/騎芸/賦術		値	備考
キャッツアイ			
ラビットイヤー			
ガゼルフット			
パラライズミスト			

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
魔動機文明語	○	○
シャドウ語	○	○

名誉アイテム	点数
専用武器	50
専用スカウト用ツール	50
専用鎧	50
専用装飾品	50
専用装飾品	50
名誉点所持	150 / 合計 400

技能	基本			
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	8	12	13	12
シューター	0			

鎧と盾	必要			
	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ソフトレザー	7		3
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	フェンサー	合計値	13	3

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12												
								3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
ピアシング	1H	4		2d+ 12	9	12	14													
ピアシング	1H	4		2d+ 12	9	12	14													
				2d+																

一般装備品	(消耗チェック)
魔晶石(3点)x20	○□□○□□
トリートポーションx11	○□□○□□
冒険者セット	○□□○□□
スカウト用ツール	○□□○□□
パラライズミストカード : Ax15	○□□○□□
パラライズミストカード : Sx2	○□□○□□

所持金	3110	預金・借金	G
-----	------	-------	---

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3	34	102	2d+ 13	3	48

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 12	2d+ 11	2d+ 14	16

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭	
耳	
顔	ひらめき眼鏡 見識判定、探索判定+1
首	光のアミュレット アンデッドからの攻撃に対し回避、精神、生命抵抗に+1
背中	
右手	能力増強の腕輪
腰	アルケミーキット
足	サイレントシューズ 隠密判定に+2
その他	ポーションインジェクター

装備品	説明
左手	能力増強の腕輪

その他メモ	自動失敗チェック
リーゼの父は剣士、母は密偵として生きるシャドウだった。リーゼはその両方から良い面を吸収し、やがて成人する頃には二つの刃を振るう密偵となっていた。そんなリーゼがあるとき、ある人間の護衛を任せられた。長期間にわたる住み込みで屋敷の巡回警護……簡単な任務だった。これで報酬は弾むというのだからたまらない。しかしリーゼは、朝食でちらりと見かけた女性に心奪われる。それは、濡れ烏色の髪をしながらに伸ばし、黄金色の瞳を持つ美しい女性だった。産まれて初めて恋というものを知ったリーゼは、それから機会を見つけては彼女に会い、心を通わせていった。ある日、夜中に彼女と逢引をした時のこと。彼女はリーゼにこう囁いたのだ。「ねえ、私たち、駆け落ちしましょう？」リーゼは自分の愛と正義の間に揺れた。彼女を尊重して駆け落ちをするか、己の義務を果たして断るか。リーゼはその感情に勝てなかった。入念な準備の上で、彼女たちは駆け落ちをしようとした。	○□□□⑤ ○□□□⑩ ○□□□⑮ ○□□□㉔ ○□□□㉙ ○□□□㉚ ○□□□㉛